

ドムヌンピー シェック ～チェックからの便り～

Domnung Pii SCHEC



NPO法人 カンボジアの健康及び教育と地域を支援する会
〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目3番29号仲治ビル4階
Tel&Fax 03(5368)6387 <http://www.schec.org>

NPO法人SCHECは、歯科診療や、井戸掘削事業、小学校の建設事業の確保などのために年2回現地視察を行っています。
次回4月の視察分井戸寄附の締め切りは3月26日です。

笑顔が集う新校舎

～ クラークモム・サンキム小学校 開校式～



シムリアップ州チクレン郡コックトロックルー地区クラークモム村に SCHEC 第8校目となる「クラークモム・サンキム小学校」を建設することができました。

チクレン郡は、シムリアップ市内から東に約60km離れたところにあります。郡の人口の90%以上が農業従事者で、且つ総人口に対する18歳以下の比率が50%近いという、典型的な農村地帯です。

前回の会報でもお知らせしましたが、80年代に建てられたそれまでの木造校舎は腐朽が進み、授業が受けられる状態ではありませんでした。それが、6教室の鉄筋コンクリート造の校舎に生まれ変わりました。これにより午前、午後の2部制ながら、500名の児童の就学に目途がつくことになりました。

2006年11月24日の開校式典は、僧侶の読経に始まり、続いて来賓の

ご挨拶と、厳かに行われました。

その中で昨年の秋に文化祭でカンボジアをテーマに取り上げ、募金活動によって井戸5本分のご寄附を下さった岐阜県立吉城高校の生徒会様から同校に千羽鶴が贈られ、また、都内のサッカークラブ「青山キッカーズ」様からは、サッカーボール5個をご寄贈戴きました。

式典の最後に全校生徒と地元の方々が見守る中、テープカットが行われ、SCHEC 視察団の十数名も同校の発展を祈りつつ、テープにハサミを入れました。

開校式の後には、「青山キッカーズ」のメンバーでもある、当会正会員の内海智勝さんが、校庭で子どもたちとサッカーをして汗を流し、さらに保育士をなさっている柏木さんをはじめ、4、5名の参加者は、持参した折り紙でツルや紙飛行機の折り方を教えるなどして、生徒たちと交流を図り、有意義な時間を過ごしました。



2年ぶりの診療活動再開！

歯科診療チームに50名が参加

一昨年、鳥インフルエンザのために急遽中止となった歯科診療活動がこの度2年ぶりに再開されました。

今回の歯科診療活動には、歯科医療関係者45名、ボランティア5名の計50名に、現地の歯科医師であるTAN先生ご夫妻が参加し、SCHEC発足以来最大の診療チームが結成

され、滞在中に総計656名の患者さんを診察しました。

その中で口腔ガンの患者さん1名が見つかり、以後の対応はTAN先生にお願いして我々は帰国致しましたが、集団検診の成果だと思います。

また、従来から継続しているバンテアイスレイ・サンキム小学校での歯科検診と歯科衛生士さんによるエブロンシアター方式の歯ブラシ指導も行うことができました。歯ブラシ使用者も徐々に増えていることを実感しております。

「継続は力なり」で、今後、この指導、診療活動を続けていくことで改善効果がより一層顕著に広範囲に現れることを期待しています。

(SCHEC 理事長 河野篤)



井戸掘削活動

06年11月の視察では、パコン郡アンピル地区のキリミノン村、タパン村、バンコーン村、トラパルン村の4村に掘られた、合計60本の井戸を確認してきました。

利用世帯総数は約180世帯です。1世帯あたり平均7名とすると約1260人が利用すると考えられます。



井戸がある家ごとに車を降り降りして、猛暑の中を視察するいつもながらハードな行程でしたが、参加者の皆さんは、子どもたちの笑顔に元気をもらいながら、頑張っていました。

皆様からご提供戴いた、歯ブラシや不要になったボールペン、手作りノートなどを井戸の周りで子ども達に配ります。みんなとても喜んでくれます。

また、今回は新プロジェクトとして、簡易水道の建設にも着手することができました。



これは、深さ80~100mの大型井戸を掘り、発電機で水を汲み上げて貯水槽に貯め、それを塩化ビニール製のパイプで配管し、各戸に新鮮な水を供給するというもので、深さ30mの井戸では水の出ない地域の飲み水の確保へ第一歩となるプロジェクトです。

チクレン郡サンバーイ地区ピアックスピア村に建設し、約336世帯に配水する予定です。

完成の様子は、次回07年4月の視察後にご報告致します。

風光る ~ ~

参加3回目の歯科医師の浜野洋一さん。

「先ず、行く度に街が見違えるように綺麗になっていくことに驚きます。歯科治療に関しては、少しずつですがデンタルIQが高くなっているように感じます。今回良かったのは、若い歯科医師が大勢参加したことです。特に勤務医の私には大学の先生方との交流は貴重な体験となります。今後はもっと多くの患者さんを診察し、さらに抜歯以外の処置も行いたいと思っています。そして沢山の歯科医師の参加を期待しています。青空の下での診療はきっといい経験になるはずですよ。」

今後の学校建設希望地

現地の方々からの要望で、田口副理事長が2つの小学校を視察してきました。

そのうちの1つ、シェムリアップ州チクレン郡ポンローラー地区のブレイチカー小学校は、熱帯雨林の中にあります。

細い道に加え、さらに行く手を阻むかのように張り出している小枝を巧みに避けながら、バイクで進み、ようやく辿り着いたブレイチカー小学校は、椰子の葉で葺いた2教室の校舎でした。現在の生徒数は、1年生が2クラス109名、2年生1クラスで58名、3年生1クラス50名ということでした。

2、3年生の数が少ないのは施設面の問題からで、現在1~3年生にあたる児童約160名が学校に行くことができないでいるそうです。

一刻も早い校舎建設が望まれています。



ブレイチカー小学校
全景(上)と
内部の様子(右)

SCHEC in the Media ;

本年に入り、東京新聞(1月1日付)、中日新聞(1月4日付)にSCHECの活動が紹介され、お読み戴いた方々から多くのお問い合わせを戴きました。皆様のボランティア活動へのご関心の高さを感じております。この場を借りて感謝申し上げます。

事務局便り

今号から題字が変わりました。SCHECのパンフレットやロゴ、ホームページの作成をして下さっているパシフィカ様によるデザインです。他の媒体と統一感のある洗練された雰囲気になったのではと思いますが、いかがでしょうか。

今回、視察団が約70名と大所帯になった一方、カンボジアも観光地として大変人気が出てきているため、エアチケットが直前まで取れないという事態となり、大変やきもき致しました。航空券手配の方でも智恵を絞らなくては。☺

SCHEC 写真館

~ 農村の動物たち ~



ねえママ、お腹空いたよ~。

我輩は猫である・・・哲学的な表情が素敵。

何だ何だ?日本人が大勢やって来たよ!

お知らせ

ホームページでもSCHECの活動を紹介しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.schec.org>

今後の予定

2007年4月26日~現地視察予定

井戸寄附締め切りは3月26日

2007年5月 新年度スタート

2007年6月 懇親会・総会